

散歩に最適な季節がやってきました！

食欲の秋、運動の秋、とよく言います。気温も落ち着き、動きやすい季節がやってきました。よく食べてよく運動し、健康な体を手に入れてくださいね！

●いろいろな使用目的があるキンモクセイ(金木犀)

近年アロマ業界でヒットしているキンモクセイの香り。特徴的な強い香りが遠くまで届くことから、古くから『千里香』とも呼ばれていました。日本では、芳香剤として親しまれてきた香りですが、原産地の中国では、食用として砂糖漬けやリキュール、また、桂花茶(けいかちゃ)という中国茶にして飲む風習まであります。また、生薬としても使われているそうですよ。



①キンモクセイ

●あまーいっ！カツラの香り、その正体は？



②カツラ

駐車場から民家園に行く途中に、甘い綿菓子のような香りがする場所があります。その匂いのもと『カツラ』という樹木です。葉が黄色くなるにつれ甘い香りが強くなります。その甘い香りの元は、マルトールという物質で、カラマツの樹皮にも含まれており、食品添加物にも使用されるそうです。カツラの葉に関していえば、乾燥した葉の方が強いにおいを発します。時期になると木の近くを通るだけで匂ってくるほどです。また、葉を乾燥させたものを粉にして、抹香(まっこう)として使用することもあります。このことから、『コウノキ(香の木)』とも呼ばれています。カツラの名前の由来は、一説によると、『香りが出る=香出(かつ)』から、『カツラ』という名前になったそうですよ。

■スズメバチに要注意！

9月から11月にかけて、スズメバチが活発になる時期です。巣を見つけた方は、近寄らず、管理事務所までご一報ください。



TEL : 0280-47-1129
古河公方公園管理事務所

●オニグルミは昔から食べられていた？

オニグルミの実(種)は縄文時代から食用として利用されてきました。それは動物たちにとっても同じで、リスなどのげっ歯目の貴重な食料として重要な役割を果たしていました。

また、それはオニグルミにとっても都合がよく、リスやネズミがその実を母樹から離れたところまで運んで地中に埋める習性があり、その一部が発芽することでオニグルミが子孫を残す手助けをしています。また、オニグルミの木は川沿いにあり、落ちた実が水に浮く性質を利用して、川辺に生息域を拡大させているようです。



オニグルミの種



③オニグルミ



※立入禁止
落枝に注意

※立入禁止
スズメバチに注意

モミジバフウ
の実

●モミジバフウって？

モミジバフウは漢字で「紅葉葉楓」と書きます。紅葉する楓というその名通り、秋になると色が変化します。特に、紅葉の初期は、グラデーションのように緑→オレンジ→赤→紫と変化し、とても美しい表情を見せます。また、紅葉の陰で実も熟します。その実はトゲトゲしたボール状で、クリスマスリースに好んで使用されます。クリスマスの時期が来たら、みなさんもモミジバフウの実を使用して、クリスマスリース作りを楽しんでみてはいかがでしょうか？



④モミジバフウ

●引き続き感染対策をしっかり行い、秋の公園をてくてく散歩して、楽しみましょう！

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索